

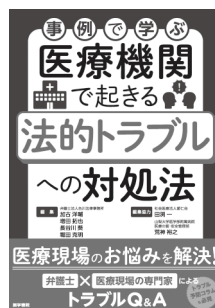
書
評

事例で学ぶ 医療機関で起きる 法的トラブルへの対処法

編集：加古 洋輔，増田 拓也，長谷川 葵，堀田 克明
編集協力：田渕 一，荒神 裕之

B5・頁240 2024年09月 定価：4,400円(本体4,000円＋税10%)
[ISBN978-4-260-05701-1] 医学書院刊

<評者> 仲田 昌司(三菱京都病院事務長)



事務部門だけでなく 各医療部門の管理者の手元に置いておきたい一冊

本書は、弁護士の立場から、具体的な事理を通して、医療機関で発生するさまざまな法的トラブルに対する対処のバイブル的なテキストです。

◆日々直面する法的トラブル

日々の病院運営で必ず遭遇するさまざまなトラブルは、その頻度、重要度はさまざまで、その対象も、患者とのトラブル、職員同士のトラブル、取引先とのトラブル、最近では、SNSや情報管理に関するトラブルなどに備えなければなりません。良好なコミュニケーションだけでは、解決できない悪質なトラブルも多く、法的な対処も必要な場合が発生します。事例によっては、法的に問題があるかどうか分からない場合もあるでしょう。また、対応を誤ると逆に医療機関や管理者側に法的リスクが発生する場合があります。

◆事例に対する対処から研修材料まで使える実用書

本書は、これらのさまざまなトラブルに対して、「患

者等とのトラブル」「債権回収に関するトラブル」「インターネット関係のトラブル」「情報管理のトラブル」「取引先等とのトラブル」「労務に関するトラブル」「その他のトラブル」に分類された具体的な事例をもとにQ & A形式で構成されており、解説も詳しく記載されています。さらに、根拠となる法律や法的な対処など、法的に押さえておくべきポイントが整理されているだけでなく、参考になる判例や文献なども紹介されています。また、各Q & Aには「トラブルを予防するために」が設けられており、トラブルを未然に防ぐための実務的なアドバイスも記載されています。そのため、新人研修から管理者研修まで、広く職員研修の研修材料としても活用できます。

事務部門だけでなく、各医療部門の管理者の手元に置いておきたい一冊です。